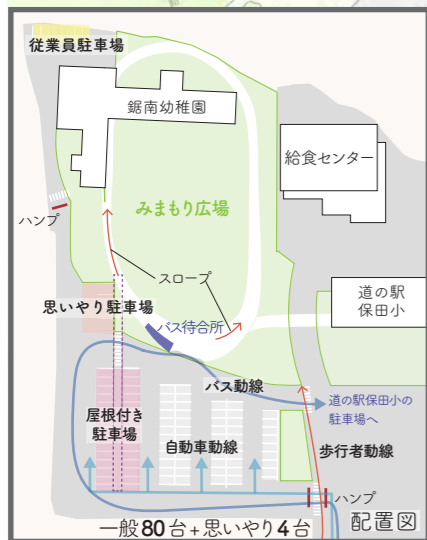
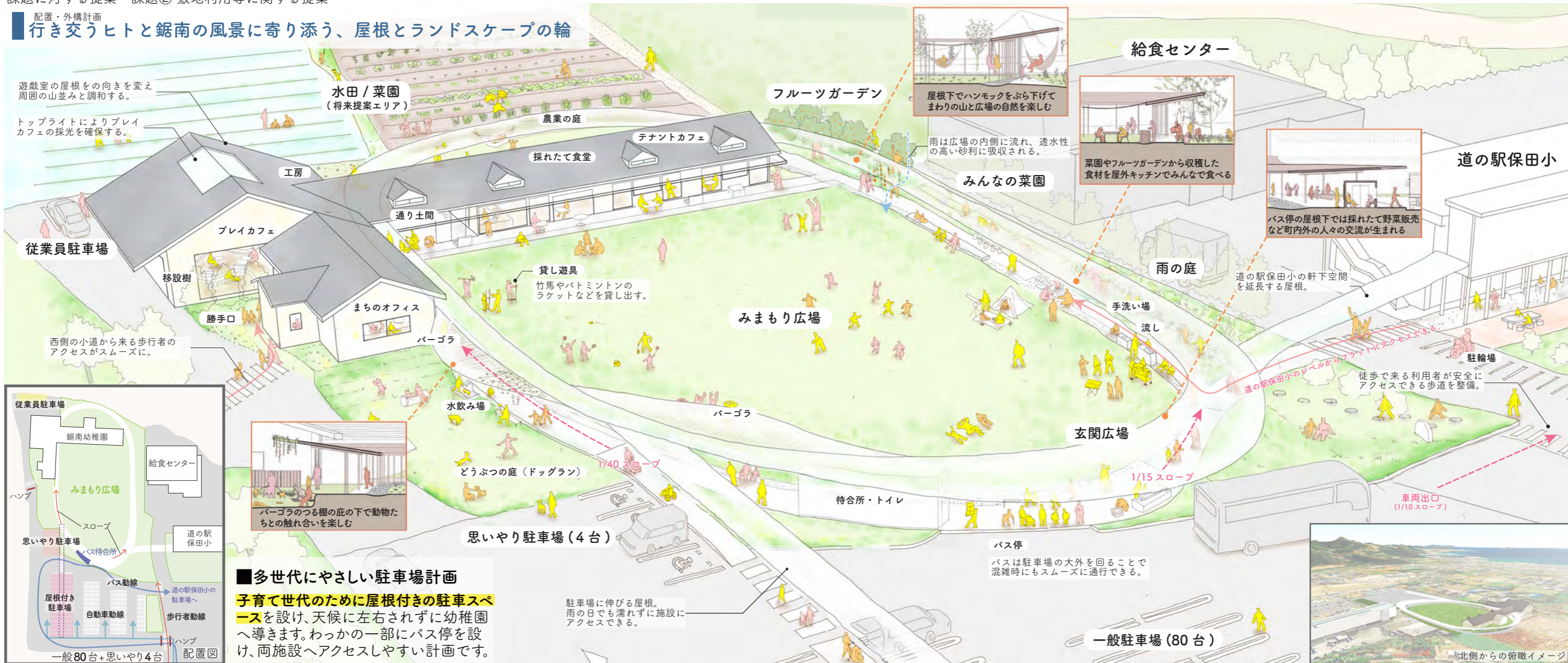


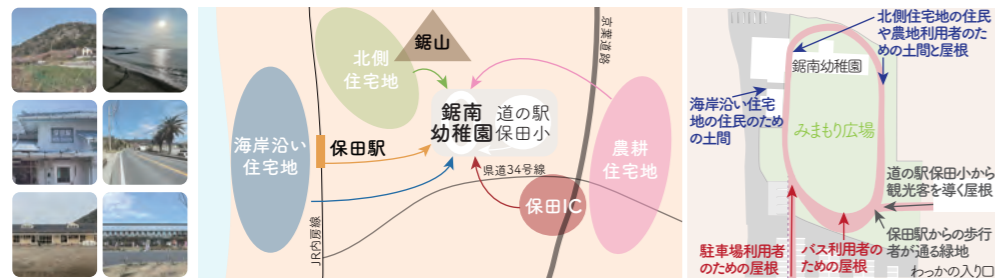
配置・外構計画
行き交うヒトと鋸南の風景に寄り添う、屋根とランドスケープの輪



多世代にやさしい駐車場計画
子育て世代のために屋根付きの駐車スペースを設け、天候に左右されずに幼稚園へ導きます。わっかの一部にバス停を設け、両施設へアクセスしやすい計画です。

利用計画
全ての人にとって使いやすい敷地利用計画

■町内外の人々を迎え入れる多方向に開かれた計画
道の駅保田小からのアクセスに加え、地元の住民や鋸南町内外の広範囲から人を招き入れる新たな交流拠点を目指します。また、住宅地や農地の方向に対しても入り口を設けることで、町内外の人びとの交流が生まれます。

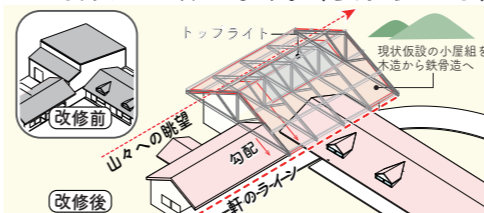


景観
周囲の景観に配慮して鋸南町の風景となる

■道の駅保田小の緑地を延長する
道の駅保田小の線的な緑を面的な緑としてつなぎ、子どもたちが安心して遊べる広場をつくりまします。敷地際では鋸南町の植物やフルーツを育てます。



■遊戯室屋根の景観に配慮した改修
プレイカフェと「わっか」屋根の軒ラインをそろえ、山々への眺望を確保します。現状仮設の屋根を鉄骨のトラス構造で葺き替え、中央にはトップライトで採光を確保します。(要現状確認)



■山や田園風景と調和し、道の駅保田小と連続する「わっか」の屋根
勾配を内側に下げた「わっか」の屋根は、360度どこからでも人を迎え入れます。敷地北側の裏山を望む眺望を確保し、稜線と調和します。道の駅保田小で使用されている折半屋根を採用し、周辺の環境と呼応したおらかな形態とします。

